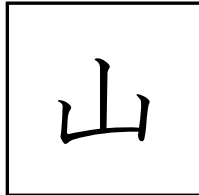


ピカピカの1年生～小学1年生で学習する漢字～

サン やま



古代文字



高い山々が連なっている形。中国の山は日本の富士山のように一つの高い山ではなく、山が連なっているような形が多い。山の美しい姿は、高い部分があり、その左右に低い部分が連なっている形で、それが山という字になった。

サ ひだり

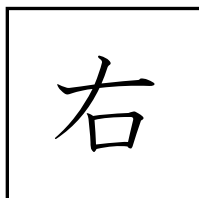


古代文字



ナと工とを組み合わせた形。ナは左のもとの字で、左手の形。工は神に仕える人が祈りごとをする時に持つ呪具（まじないの道具）。左は左手に神を呼ぶ道具を持って、「神様どこにいらっしゃいますか」と呼びかけ、神の居場所をたずね、神の助けを求めることをいう。「ひだり、たすける」の意味となる。

ウ・ユウ みぎ

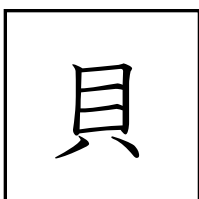


古代文字



又と口とを組み合わせた形。又は右手の形。口は で、神への祈りの文である祝詞を入れる器の形。右は右手にお祈りの言葉を入れる器である を持って、「神様どこにいらっしゃいますか」と呼びかけ、神の居場所をたずね、神の助けを求めることをいう。「みぎ、たすける」の意味となる。

かい

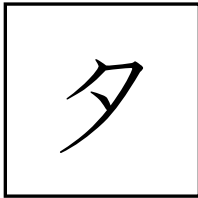


古代文字



子安貝の形。南方の海でとれる子安貝は内陸部の殷・周王朝地域の人々にとっては貴重品であった。古くは呪器とされ、また、財宝として珍しがられ大切にされた。貝は金属製のお金ができるまで、お金として使われていた。

セキ ゆう

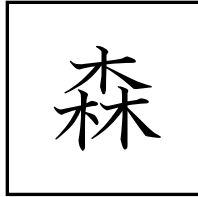


古代文字



夕方の月の形。「ゆう、ゆうべ」をいう。月は満ち欠けするものであるが、丸い形の日（太陽）と区別するために、三日月の形にする。月と甲骨文字の形が似ているが、夕には三日月の中に点があり、月には点がない。今の字は、夕は点の一つ、月は点を二つつけて区別している。

シン もり



古代文字



木を三本合わせた形。木を三本組み合わせて、「もり、しげる」の意味となる。林は人の生活する所に近い木立であるが、森は人の入らないような原始林であった。森は神の住む所とされていた。

ネン とし

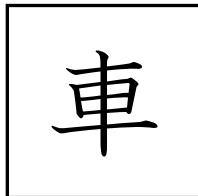


古代文字

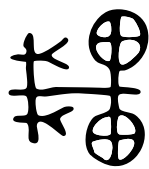


禾と人とを組み合わせた形。禾は稲の形。田植えの時、豊作を願って稲の形のかぶりものをつけて田の舞をする男の人の形を年といい、「みのり」の意味となり、稲は一年に一度実るので「とし」の意味となる。

シャ くるま

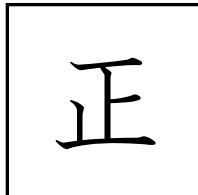


古代文字

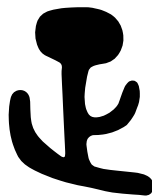


車の形。車の車体とその左と右に車輪をつけ加えた形。車にはほかにもいろいろな古代文字がある。中国の昔の戦争は馬車で戦い、馬車には二頭の馬をつないだ。中国では古くから車を作っていた。

セイ・ショウ
た~~だ~~しい・た~~だ~~す・ま~~さ~~



古代文字



一と止とを組み合わせた形。一（もと□の形）は城で囲まれた都市。止は足跡の形で、行くの意味がある。正は城に向かって人が進む形で、「攻める、攻めて征服する」の意味となる。正は征のもとの字である。征服した人から税をとる行いを「正しいこと」としたので、「た~~だ~~しい、た~~だ~~す」の意味がある。